

新公立病院改革プラン 平成30年度実績報告（浜松市国民健康保険佐久間病院）

1 地域医療構想を踏まえた役割の明確化について

（医療機能等指標に係る数値目標に対する実績）

医療機能等の指標	平成30年度 目標（A）	平成30年度 実績（B）	増減 B－A	達成率
救急車受入患者数	243人	269人	26人	110.7%
紹介率	16.3%	36.8%	20.5ポイント	—
逆紹介率	17.7%	31.8%	14.1ポイント	—

- 救急搬送受入患者数は269人で、目標値を26人上回ることができた。
- 定期的の開業医との検討会を開催し、北遠地域内での医療連携体制の強化に努め、紹介率、逆紹介率ともに目標値を達成することができた。

2 経営の効率化について

（経営指標に係る数値目標に対する実績）

収支改善に係る指標	平成30年度 目標（A）	平成30年度 実績（B）	増減 B－A	達成率
経常収支比率	102.3%	101.5%	△0.8ポイント	—
医業収支比率	53.0%	55.3%	2.3ポイント	—
経費削減に係る指標				
給与費対医業収益比率	117.3%	113.0%	△4.3ポイント	—
材料費対医業収益比率	23.3%	21.6%	△1.7ポイント	—
収入確保に係る指標				
入院患者延べ数	18,615人	14,994人	△3,621人	80.5%
入院診療単価	19,004円	21,608円	2,604円	113.7%
外来患者延べ数	24,711人	24,374人	△337人	98.6%
外来診療単価	10,061円	10,073円	12円	100.1%
病床利用率	85.0%	68.5%	△16.5ポイント	—
経営の安定性に係る指標				
医師数	6人	4人	△2人	66.7%
企業債残高	402百万円	402百万円	0百万円	100.0%

- 圏域人口の減少により、入院・外来収益は減少したが、経費も見込みより少なかったため、医業収支比率は目標を達成することができた。
- 入院の患者数は下回ったものの診療単価は、重篤患者の受け入れもあったこともあり目標値を上回った。

3 再編・ネットワーク化について

- 西部構想区域内では、特定機能病院及び地域医療支援病院における二次・三次救急医療体制が整備され、病院が連携し、それぞれの機能を有効に発揮している。

4 経営形態の見直しについて

- 当該地域の医療提供体制や住民ニーズから、現行の形態が適切であると考えているため、公設公営の経営形態を維持していくこととする。